

きょうと

京都市図書館情報誌

2010  
国民読書年

# 「本」ものがたり

2010年は国民読書年です

特集

vol.22

平成22年3月発行



本の木を育てよう  
(中央図書館)

図書館で  
龍馬に出会う

OPEN YOUR BOOK AT PAGE 4,5 PLEASE

目次

② ③ 寄稿 「百人一首講話（その一）」

京都百人一首・かるた研究会代表  
京都アスニー小倉百人一首・かるた講座専任講師 河田 久章

④ ⑤ 特集 図書館で龍馬に出会う

⑥ 特集 探してみよう！あなたの「龍馬」

⑦ 図書館の特色紹介 西京図書館

⑦ 図書館小特集 子ども読書の日

⑧ 利用者の声 理想の図書館

⑧ 編集後記 龍馬の魅力再発見

# 百人一首講話（その一

河田久章

かるた講座専任講師  
百人一首発祥の地は—  
京都市右京区嵯峨は、百人一首発祥の地として、古くから言い伝えられています。

京都市右京区嵯峨は、百人一首発祥の地として、古くから言い伝えられています。

京都百人一首・かるた研究会代表  
京都アスニ一小倉百人一首・  
かるた講座専任講師



常寂光寺

にありました。万葉歌人の天智天皇、持統天皇、柿本人麻呂等の歌も、多少変化させ平安時代の歌として撰されております。後鳥羽院と順徳院の歌は百人一首選以前に詠まれてはいますが、何故か、定家がその撰に關係した勅撰集ではなく、定家没後十一年、息子為家の撰になる「続後撰集」に撰されているのです。結局、定家は両院の歌を勅撰集を前提とした百人一首には選んでいなかつたことになります。後鳥羽院と定家の確執や、鎌倉幕府への氣兼ねなど取沙汰されますが判然としません。

これらの勅撰集は、平安宮内裏の、和歌文化、宮廷文化を作り上げたとされる「後宮」、女院の館・七殿五舎に、当代の優れた歌人を集め撰に当らせたのが始めとされます。

この内裏後宮の跡は上京区下立売から北、千本通りから東の区域にほぼ確定され、七殿五舎のうち、数ヶ所の跡地も石碑や、説明板に明示されています。

このことから「百人一首は 実はこの内裏後宮、七殿五舎が発祥の地であったのではないかとも考えられるのです。



厭離庵

アスニアトリー

**小倉百人**首講話と「かるた」競技の実技指導

この内裏後宮、七殿五舎が発祥の地であつたのではないかとも考えられるのです。

「古今集」の撰者、紀貫之等を集めた「承香殿の東なるところ」や「後撰集」の昭陽舎（梨壺）は公の和歌所として勅撰集撰のための臨時役所が設置され、以後其の都度、宮中に置くことになっていました。もつとも和歌所は、十四回にも及び、一二七年廃絶の止むなきに至った内裏の焼亡で、臨時の御所や里内裏に移つたことも認められ、「新古今集」では後鳥羽院の御所、二条殿弘御所の北面に設置されたとも伝えられています。単独撰者の場合、撰者自身が、私邸に置く場合もあつた由。

いづれにせよ、この後宮の常寧殿や麗景殿などでは、詩や和歌の花見宴や飛香舎（藤壺）の藤花宴、凝華舎（梅壺）では度重なる歌会や歌合せが行われ、その時々、勅撰集編纂の下命が話題になつていたようです。



平安宮内裏昭陽舎跡  
勅撰和歌集  
「撰集」を撰した場所

祥の地として、古くから言い伝えられています。それは、百人一首を選定したとされる、現在も和歌の宗家を伝える上京区の冷泉家の祖藤原定家（ていかさだいえ）が、平安末期から五十有余年に渡って書き綴った「明月記」という日記の文暦二年（一二三五年）五月二十七日の頃に、嵯峨中院（地名として現存）にあつた宇都宮頬綱（関東武士で歌人、北条時政の女婿であつたが、時政の失脚事件に連座させられ、法然の争上宗に歸依、京都

（でもあつた）の山荘の障子（今の襖か）に貼る色紙に、和歌を書くことを懇請され、字を書くことは得手ではなく、ためらい乍らも書いて送つたということが記されていたのです。又、それには、古来の人の歌、各一首、天智天皇から、定家同世代の家隆や雅経にも及ぶともしたためありました。然し、他に誰々の和歌を何首選んだとは書いていないのですが、爾来、これを以て「小倉山莊色紙和歌」と称し、百人一首の誕生の日、嵯峨中院、山荘のあつたこの地を百人一首発祥の地、編纂の地としたことに由来します。

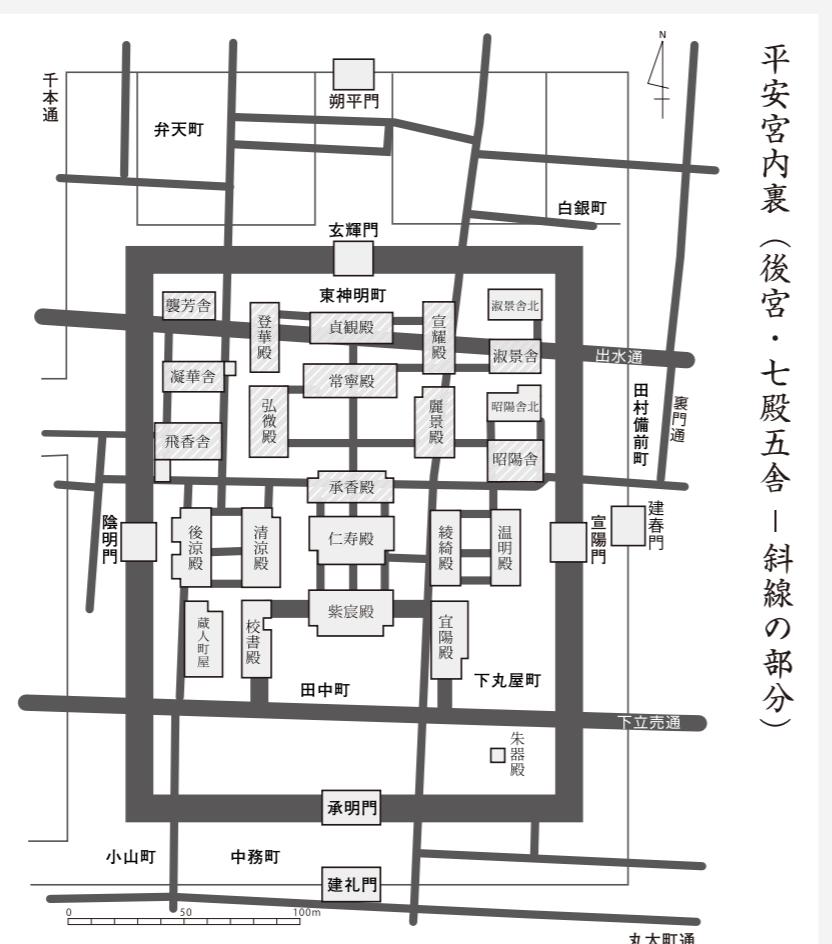
ただ、昭和二十六年に百人一首の草稿か、原本かという「百人秀歌」というのが発見され、それには百一人の歌人による百一首が収録され、現在私達が親しんでいる百人一首の中

の後鳥羽院と順徳院の和歌がなく、代つて一乘院皇后宮・定子・源國信藤原長方という三人の歌人の歌が選ばれてはおります。

もともと嵯峨は風光明媚、平安前期には、嵯峨天皇の離宮（現在の太覚寺）が造営され、多くの貴族や、歌人たちが、平安京から千代の古道と云われた現在の新丸太町通りから山越街道、一条通りの広沢池を経て、観音や詠歌を楽しみに訪れていました。別業と云われる山荘も此處彼処、定家も所有し、定住ではないのです。が、度々訪れ、病を癒したり、浩然の氣を養い、歌作にも励んでいたとは思われます。現在、嵯峨では、この山荘のあつたところが三ヶ所目され、一つは「二尊院」二つ目は「當寂光寺」三つ目は中院にある「厭離庵」。それぞれゆかりがあるようですが、定かではありません。「明月記」によりますと定家は三十八才の頃から六十八才の頃まで約三十年に渡つて山荘を利用していますが、寛喜元年（一二二九年）六月には、老朽化が激しくなったのか、定家に受戒し、出家をさせた興心房という僧に嵯峨の堂を譲渡しています。定家が頬綱に色紙を送った一二三五年より六年のことで、その後は頬綱の山荘に逗留したり、度々嵯峨ゆかりの地所で、父俊成や母の忌日仏事を修してはいたことが記されています。

定家がここ嵯峨では、選んでいた和歌を色紙に書き上げたところとも

集を基としています。平安前期に入る「古今集」、平安中期の「後撰集」や「拾遺集」平安後期の「後拾遺集」「金葉集」「詞花集」「千載集」などです。史暦では鎌倉時代に編纂されたとする「新古今集」「新勅撰集」の百人一首歌人は、源実朝を除いて総て平安時代に生れ、育つた人で、実朝の歌も「古今集」の東歌を本歌とし、その心は平安時代



二尊院

# 図書館で龍馬に出会う

## 「龍馬」という人物

★坂本龍馬とはどんな人?その生涯を知るために、図説・新聞形式・CGなどでわかりやすく解説された本があります。

『図説地図とあらすじで読み解く!坂本龍馬の足跡』木村幸比古監修

『坂本龍馬新聞』坂本龍馬新聞編集委員会編

『坂本龍馬 龍馬が歩いた地その瞬間をCGで再現』双葉社

『龍馬がゆく』司馬遼太郎著  
『龍馬の手紙を覗いてみませんか。『龍馬が長い手紙を書く時』小椋克己著

『日本史英雄たちの家紋』新人物往来社

他にもあります、こんな本

★龍馬と同じ時代を生きた人物や、その時代背景がわかります。  
『京都時代MAP 幕末1000人』世界文化社

・『ビジュアル幕末1000人』世界文化社

・『京都時代MAP 幕末・維新編』新創社編

・『F・ベアト写真集1』F・ベアト(写真)  
・『イギリス紳士の幕末』山田勝著  
・『図説ヴィクトリア朝百科事典』谷田博幸著

他にもあります、こんな本

★海外からの視点で見た当時の日本の姿、当時の外図での暮らしとは。  
『幕末龍馬の京都案内(らくたび文庫)』

・『龍馬の愛した町』山縣基与志編  
・『海はるか坂本龍馬足跡ガイド』京都新聞出版センター編

「幕末」どんな時代?



他にもあります、こんな本

★海外からの視点で見た当時の日本の姿、当時の外図での暮らしとは。  
『幕末龍馬の京都案内(らくたび文庫)』

・『F・ベアト写真集1』F・ベアト(写真)  
・『イギリス紳士の幕末』山田勝著  
・『図説ヴィクトリア朝百科事典』谷田博幸著

「龍馬」を読む



「龍馬」を読む

★小説の世界では、いろいろな龍馬像を楽しめます。

・『龍馬がゆく』司馬遼太郎著  
・『商人龍馬』津本陽著  
・『龍馬と弥太郎』童門冬二著

・『龍馬暗殺』早乙女貢著  
・『龍馬とおゆきのまつこと』司馬遼太郎  
・『龍馬とおゆきのまつこと』みすてりこせよ 吉橋道夫著  
・『龍馬とおゆきのまつこと』どうまちりぐせよ 吉橋道夫著

・『坂本龍馬』山岡荘八著  
・『龍馬とおゆきのまつこと』

・『龍馬とおゆきのまつこと』

・『龍馬とおゆきのまつこと』

「龍馬」のおはなし

★子どもも大人も楽しめる本です。

・『龍馬とおゆきのまつこと』みすてりこせよ 吉橋道夫著  
・『龍馬とおゆきのまつこと』どうまちりぐせよ 吉橋道夫著



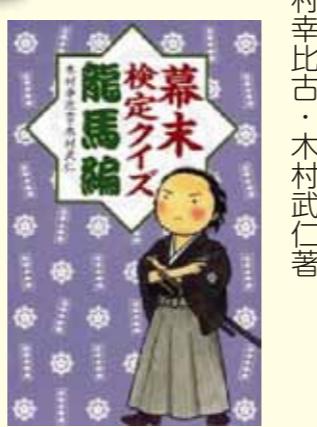
・『なかおかはひいせよ』田島征彦著



「龍馬力」を試す!

★龍馬の身長はどのくらいだった?  
脱藩した時、龍馬が飲んだ湧き水の名前は?  
など、龍馬に関するクイズが10問!あなたは何問答えられますか?

・『幕末検定クイズ 龍馬編』木村幸比古・木村武仁著



京都市図書館には、これらの他にも龍馬関連の本がたくさんあります。詳しくは、京都市の各図書館までお気軽におたずねください。

歴史上の人物の中でも人気が高く、現在も幕末のヒーローとして慕われる「坂本龍馬」。今年はTVドラマが放映されるなど、特にクローズアップされています。この特集では、龍馬に関する本を幅広くご紹介します。6ページの『探してみよう!あなたの「龍馬」』も、あわせて参考にしてください。

## 番外編 龍馬も食べた!!かつおのたたき

高知出身の坂本龍馬。ここでは高知の名物料理「かつおのたたき」について、ご紹介します。

### 《名前の由来》

伝統的な調理法が「生のかつおを4つ割にして表面に塩をふり包丁の面でたたいてから焼く」ところから「たたき」とつけられたようです。

◆家でお手軽に作れるレシピは、この本に載っています。  
『郷土料理のおいしいレシピたべよう!つくろう!47都道府県西日本編』教育画劇



図書館にはガイドブックもたくさんあります。  
あなたの旅に役立ててください!

図書館にはガイドブックも

たくさんあります。

たくさんあります。



## ゆかりの地を訪ねる

★京都をはじめ、高知や長崎、鹿児島など、坂本龍馬ゆかりの場所は、各地にあります。

- ・『幕末龍馬の京都案内(らくたび文庫)』
- ・『龍馬の愛した町』山縣基与志編
- ・『海はるか坂本龍馬足跡ガイド』京都新聞出版センター編
- ・『坂本龍馬を歩く』一坂太郎著
- ・『歴史の舞台を旅する2 日本人の記録』坂本龍馬 近畿日本ツーリスト

## 「龍馬」から学ぶこと

◆龍馬の生き方には、現代にも活かせるヒントがたくさんあります。

- ・『はじめての坂本龍馬』齋藤孝著
- ・『龍馬の夢は君たちの夢』百瀬昭次著
- ・『龍馬語録 自由闇達に生きる』木村幸比古著
- ・『坂本龍馬の人生訓』童門冬二著

## 番外編

## 龍馬も食べた!!かつおのたたき

高知出身の坂本龍馬。ここでは高知の名物料理「かつおのたたき」について、ご紹介します。

### 《名前の由来》

伝統的な調理法が「生のかつおを4つ割にして表面に塩をふり包丁の面でたたいてから焼く」ところから「たたき」とつけられたようです。

◆家でお手軽に作れるレシピは、この本に載っています。  
『郷土料理のおいしいレシピたべよう!つくろう!47都道府県西日本編』教育画劇



# 探してみよう！あなたの「龍馬」

世の中に「龍馬」本は数あれど、いったい何を読んでいいのかわからない！そもそも「坂本龍馬」ってどんな人？いつ、何をしたの？… そんなあなたのための、図書館での本の探し方のヒントです。

## ① まず、何について知りたいのか考えてみましょう。

ひとくちに「坂本龍馬」といっても、その生涯や取り巻く人々、時代背景など、いろんなアプローチの仕方があります。

あなたは何が気になりますか？もし、見当がつかないなら  
最初は事典などで全体像をおおまかにつかんでみましょう。

### ポイント！

百科事典は基本的な情報が簡潔にまとめられているだけでなく、検索の手がかりとなるキーワードや参考文献などがあわせて確認できるので便利です。  
また人名事典や日本史事典など、専門的な事典も参考になります。

## ② 本棚へ探しに行ってみましょう。

気になるテーマが決まったら、実際に本棚へ探しに行ってみましょう。図書館の本はテーマ別に分類されて並んでいるので、タイトルがわからなくても「分類番号」によって、興味のあるテーマの本棚へ探しに行くことができます。

★例えば「幕末」について書かれた本なら

200 歴史・伝記・地理の



210 日本史の



210.58 江戸末期・幕末史

というように、番号で分類されています。

もっと他にも…

○ 「289」は伝記(個人)のコーナー  
龍馬の伝記はここを探そう！

○ 「291」は日本の地理・紀行のコーナー  
龍馬ゆかりの土地(高知・江戸・長崎・京都など)を調べてみよう！

○ 「913」は日本の小説  
物語の中で龍馬と出会おう！

### ポイント！

同じテーマの本は、同じ分類番号にあるので、近くに並んでいる本にも注目してみてください。



## ③ 検索機（OPAC）を使ってみましょう。

図書館に置いてある検索機を使って、本を探してみましょう。タイトルやキーワードの欄に気になる語句を入れて検索すると、図書館にある本の中で、その語句がタイトルに含まれたものや、関連する資料が表示されます。

百科事典で調べたキーワードもあわせて調べると、より幅広く検索することができます。

### ポイント！

OPAC を使うと、本だけでなく、CD や DVD もあわせて検索することができます。



## ● 最後に…

自分で探してみても、これだ！と思える本がない時、また、もっと詳しく知りたい時、たとえば本以外の資料（雑誌や新聞の記事など）からも探したい場合などは気軽に職員にお尋ねください。あなたの1冊を探すお手伝いをします。



# フロア全体が親と子の「ほっこり」空間



～ 西京図書館 児童図書室 ～



「ここは固苦しくなくって、ゆっくりできる」  
という声を、親子で児童図書室を利用される方々からよく  
頂きます。

当館は、地域図書館の中で唯一、1階を成人書図書室、2階を児童図書室と、完全に二つに分けています。また児童図書室の半分は、はきものをぬいで座り込めるスペースで、幼児でも自然に手の届くところに絵本や紙芝居などを置いています。

図書館といえば、少しでも声を出せばすぐに周りから顔をしかめられ、片時もじっとしていないいちな子連れには肩身の狭い場所のイメージがありますが、当館のこうしたつくりが、2階に上がれば同じような親子が集い、声をだして読むのはもちろん、多少のはしゃぎぶりにも、(もちろん目に余れば注意しますが)自然なものとして受け入れられる雰囲気を生み出しているようです。

親と子の「ほっこり」空間、西京図書館児童図書室にどうぞお越しください。



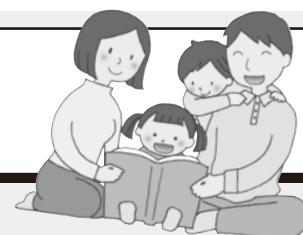
西京図書館 児童図書室



## 「子ども読書の日」記念事業



～いっしょに読むと もっとたのしい！～



**4月17日(土)～25日(日)**

※図書館の開館日のみの開催です

児童文学作家  
**富安陽子さん** 講演会＆サイン会

### 「妖怪とのつきあい方教えます」

『ムジナ探偵局』『まゆとおに』など、やまんばや妖怪が登場するファンタジー作品が人気の富安陽子さんのお話を聞いてみませんか？妖怪と友だちになれるかも？！

日 時：4/17(土) 14:00～(13:30開場)

会 場：京都アスニー3階 第8研修室

定 員：当日先着200名

※サテライト会場にて同時中継を行います。小さなお子様連れでもお気軽にご参加ください。

※サインはお1人につき1冊、著書に限ります。また、当日は著書の販売コーナーがあります。

### 本のもり・あそびコーナー

ブックリスト「本のもり」の本がゆっくり読めるコーナーや、「としかんすごろく」などで楽しく遊べるコーナーがあります！

開催時間：10:00～17:00

会 場：京都アスニー2階 第1研修室

### 読書絵はがき展

おしえて！あなたのお気に入り。大好きな本を大好きな人へ、子どもたちが「絵はがき」にして紹介してくれました！

開催時間：各会場の開館時間

会 場：各京都市図書館、こどもみらい館

### 各図書館でのおたのしみ会

絵本の読み聞かせや紙芝居、人形劇やパネルシアターなど、たのしい行事がもりだくさん！

※詳細は各京都市図書館にお問い合わせください

## ◆ 左京区 クラフリン・マシューさん（大学教員）

在日15年。私が使う図書館は岩倉。子供が小さいころから絵本や自分が読めるような本を借りに行っています。ゆっくりとくつろげて、スタッフもフレンドリー。ただ、ほかの京都の図書館と同じように現在の社会のニーズと今後の小学校での英語教育のことを考えると、いつも驚くのは英語の本がほとんど無い事です。日本人はみんな学校で英語を勉強しないといけないのに、その支援とその後のことはあまり用意されていないように思います。本を読むと違う世界に触ることができます。ほかの言語で読むともっと良く分かるようになります。私の理想的な図書館は日本語の本だけではなく、自分の子供の英語教育や他の言語を勉強している日本人への支援がある場所。本を通して世界を広げませんか？

## ◆ 上京区 匿名希望さん（無職）

「こんな新しい本が借りられてうれしい」リクエストの本が届いた時の母の口ぐせでした。その母亡きあと、いつのまにか私もせっせと図書館に通い、本を借り、リクエストしています。今の私にとって図書館はなくてはならない生活の一部です。何より雑誌、インテリアから医療など幅広いジャンルの本を借りられることが素晴らしいです。出来ればこれから高齢化に向け活字の大きい本や、写真の多い本の増加と高齢者（成人）向けの読み聞かせも始めて頂きたいと思います。

表紙の写真は、利用者のおすすめ本を、葉っぱに見立てた用紙に記入し、木に貼りつけて、本の木を育てている取組です。

このような、利用者にご自分のおすすめ本を紹介していただく取組を、京都市の各図書館で実施していく予定です。

## 京図ものがたり vol.22

発行  
平成22年3月

編集・発行  
(財)京都市生涯学習振興財団・京都市中央図書館  
〒604-8401 京都市中京区聚楽廻松下町9-2  
TEL 075-802-3133  
<http://www.kyotocitylib.jp/>  
<http://www.kyotocitylib.jp/i/>



子どもを共に育む  
京都市民憲章  
社会のあらゆる場で実践し  
行動の輪を広げましょう！



あなたの好きな歴史上の人物は誰ですか？  
聞かれた、「坂本龍馬」と答える人は多いと思  
います。今年はあちこちで取り上げられてい  
ます。今回の京図ものがたりの特集も時の人、坂  
本龍馬です。  
本を集めてみると、なんてたくさんあること  
か！読めば読むほど、龍馬という人の魅力に取り  
憑かれました。この中の一冊、「坂本龍馬の人生  
訓」(童門冬二著・PHP研究所)にこんな一文が  
ありました。  
「若旦那に使われると、仕事がおもしろくてど  
んどん工事がはかどる。しかし、一日終わってみ  
ると、体がくたくたに疲れていて動けない。あ  
の人はほんとうに人の使い方がうまい。」  
この若旦那とは、もちろん坂本龍馬のこと。  
馬がまだ生家にいた頃、父のかわりに家の土木工  
事の指揮をとった時の話です。龍馬は理想的な上  
司でもあつたんですね。

## ◆ 中京区 古川 洋子さん（学生）

私は小学生の頃、下京図書館に毎日の様に通っていました。毎日通う事が出来たのは図書館が近かったことや、入りやすい雰囲気であったためでしょう。決して頭がいい子でもない、そんな私が毎日通う程好きだった本は「マンガ偉人伝」でした。今でもたまに新しい偉人伝があるとついいつの場で読み込んでしまいます。私にとって理想的な図書館とは、利用者に近い存在である図書館です。帰り道に立寄れる様な、入ればほっとする様な、暖かい存在でいて欲しいと思います。

## ◆ 南区 菊井 典子さん（看護師）

本が好き。本に囲まれているのがなにより幸  
せな私には、歩いて10分に図書館がある状態  
だけでも既に理想的な図書館と言えます。

読みたい本がない時はパソコンで検索します。  
(できるようになりました。) 本の背表紙を眺め  
ているうちに興味が湧いてくることもあります。  
おかげで読書の幅が広がりました。でも、これ  
から年齢を重ね、10年先20年先、目が衰え、  
足が弱り、意欲もなくなっているかもしれない。  
それでもなお、足を運びたくなる図書館であつ  
てほしいと思います。

編  
◆ 集  
◆ 後  
◆ 記

